

レジメン名称: SOX (130)+オブジーボ

胃癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 3 週間 Day 1.....8.....15.....22
オブジーボ	360 mg/body	↓
オキサリプラチン	130 mg/m ²	↓
S-1(内服)	80 mg/m ² /day	↓.....↓ オキサリプラチン投与日の夕から 15 日目の朝まで 2 週間内服、1 週間休み

レジメンオーダー以外に必要な処方

Day1～:S-1 2×朝夕食後、day1 タ～ 14 日分

必要時 (制吐剤予防投与) : day2～ : デキサメタゾン (デカドロン) 4～8mg 1×朝 2 日間 内服

注意

SOX (胃癌) はオキサリプラチン 100 mg/m² (G-SOX)、130mg/m² の 2 種類がレジメン登録されています。

S-1 投与量	体表面積 (m ²)	投与量
80 mg/m ² /day	1.25 m ² 未満	20 mg 4T 2×
	1.25 m ² 以上～1.5 m ² 未満	25 mg 4T 2×
	1.5 m ² 以上	20 mg 6T 2×

注意事項

S-1 はオキサリプラチン投与日の夕から開始です。

オブジーボのルートにはフィルター付き輸液セットを使用

オブジーボ : インフージョンリアクション (気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど) に注意。

初回および 8 週以上あいた時 : 心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり (詳細は投与方法の項を参照)

CV ポート使用時は、微粒子発生リスク低減のため、レジメンどおりに生食でルートキープし、オブジーボはレジメンどおりの希釈濃度で投与してください。

特に注意する副作用

間質性肺疾患、重症筋無力症・心筋炎・筋炎・横紋筋融解症、大腸炎・重度の下痢、1 型糖尿病、免疫性血小板減少性紫斑病

肝機能障害・肝炎、甲状腺機能障害、神経障害、腎障害、副腎障害、脳炎、重度の皮膚障害、静脈血栓塞栓症

インフージョンリアクション

投与方法：1日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの フィルター付き 点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	オブジーボ 360 mg , 生食 40 mL (生食 100 のボトルを使用) 30 分かけて点滴、メインルートから投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
3	生食 50mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 15 分間、残破棄可
4	グラニセトロン 3mg/100mL 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
5	オキサリプラチン mg , 5%ブドウ糖 500mL 2 時間かけて点滴 ケモセーフロックのルートより投与
6	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄